

目次

献辞

関屋俊彦教授 略年譜……………1

関屋俊彦教授著述目録（抄）……………10

蔡順、丁蘭、韓伯瑜図攷——呉氏藏北魏石床（二面）の連れの一面の出現……………21

『貫之集』西本願寺本と資経本の共通祖本について……………53

新たに知られた小式部内侍本伊勢物語の断簡……………67

「笑ふことにやありけむ」——伊勢物語第八七段の草子地について……………73

『大和物語』の古筆切——伝慈円筆六半切の本文系統……………83

『和漢朗詠集』の伝本享受——和歌本文の変遷……………97

〈歌人〉深養父の評価に関する一考察……………109

奉納百首の展開……………121

『太平記』外伝二題——笠置合戦に纏って……………131

黒田 彰
北井 佑実子
田 中 登
山 本 登 朗
間 中 真紀子
恵 阪 友紀子
坂 本 美 樹
福 留 瑞 美
青 木 晃

夢想和歌・連歌——学際的研究を目指して——	鶴崎裕雄	135
熊野信仰における「五衰殿女御譚」の形成	小川路世	161
『大坂物語』再考——「大坂の陣関係軍記」考序論として——	瀬戸祐規	173
長州藩鷲流における「改作」の問題——江山本「差出祖父」をめぐって——	稲田秀雄	187
和泉流改正狂言小考——三宅本・万蔵家本・藤江本紹介・検討——	田口和夫	201
新架蔵『能間』について	関屋俊彦	219
其角『花摘』の舞台——亡母追善句日記から蕉門撰集へ——	藤田真一	229
翻刻『忠臣規矩順従録』（三）	山本卓	249
牛山鶴堂と『西洋落語』	浦和男	303
広津柳浪『河内屋』論——妻としての規範から浮かび上がるもの——	平田恵美子	319
安部公房の『アヴァンギャルド』	顧琦淵	335
——昭和二十三年から二十五年までの創作理論の発展を中心に		
井上靖「楊貴妃伝」論——典拠と宦官・高力士の役割——	蘇洋	361
津村節子『流星雨』論	岩田陽子	377

『狂言六義』における依頼談話の構造……………	森	勇太	(1)
愛知県内における二人称代名詞の運用方法の地域差……………	山本	空	(17)
弔辞の文体変化……………	利岡	真帆	(33)
動作動詞を前接要素とする「気がする」と「気がしない」……………	藏本	真由	(53)
「文字と絵」研究序説……………	乾	善彦	(67)
漫才の賢愚二役の掛け合いの変容——ポケへの応答の定型句をめぐって——……………	日高	水穂	(79)